

委員会の趣旨および検討対象について

背景

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区（以下当該地区）については、平成 17 年度に地区としての基本計画が取りまとめられた。当該計画の検討に際して、体験的歴史学習についても一定の検討が行われてきた。

その後、キトラ古墳壁画の剥ぎ取りや新たな遺跡の発見、地域住民や周辺地域の活動団体と連携した参画型の開園前イベントの開催など、当該地区を取り巻く動向の変化が見られている。

当該地区の体験的歴史学習については、基本計画策定以後の基本設計の検討や実施設計の進捗などと並行して、このような動向の変化等を踏まえながら関係機関により意見交流会を開催するなど、基本構想の策定に向けた検討を進めてきたところである。

委員会の設置目的・概要

本委員会は、過年度における検討を踏まえつつ、当該地区の供用（平成 28 年度予定）に向け、各分野の専門家の方々の意見を諮りながら体験的歴史学習基本構想を定めるために設置するものである。

なお、委員会には、地元ニーズを反映するとともに、管理運営等を見越した議論を進めるため、関係機関の参画も得ることとする。

検討対象

委員会に諮る検討対象は下記の項目とする。

当該地区における体験的歴史学習のテーマ・内容

当該地区において体験的歴史学習の展開に必要な施設概要（備えるべき機能・規模・設備等）

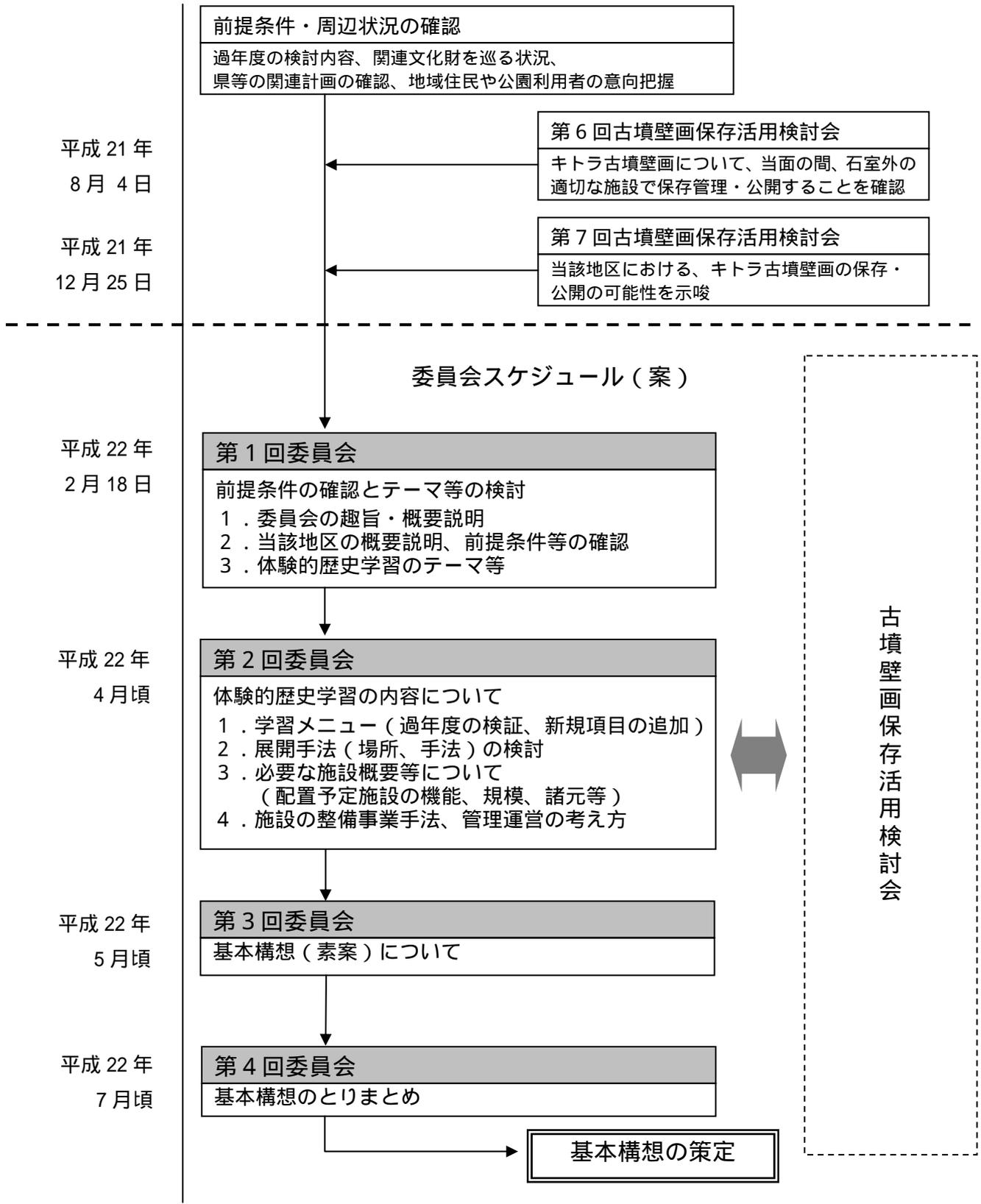
基本計画策定までの経緯とその後の経過

キトラ古墳周辺地区は平成13年3月に国営飛鳥歴史公園の一部として整備されることが閣議決定され、同年12月に地区を追加する都市計画変更がなされた。その後基本計画を策定していく際、隣接していた檜隈寺跡が国史跡として指定された。このことを踏まえて、平成18年3月に檜隈寺跡を囲む形として基本計画の策定がなされ、同年8月には都市計画区域の変更、10月に事業承認が告示され、現在は平成20年3月の基本設計に基づいて、平成28年度の開園を目標に、各エリアの文化財調査、ならびに実施設計が進めている。

国営飛鳥歴史公園 キトラ古墳周辺地区に係る経緯

年代	事柄
昭和45年12月	・「飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策について」閣議決定
昭和55年 5月	・「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法」公布施行
昭和58年11月	・キトラ古墳調査。墳丘外からの探査により壁画(玄武)を確認。
平成 6年 4月	・国営飛鳥歴史公園46.1ha 概成開園
平成12年 7月	・キトラ古墳史跡指定
平成12年11月	・キトラ古墳特別史跡指定
平成13年 3月	・キトラ古墳周辺地区を国営飛鳥歴史公園の一部として整備する閣議決定
平成13年12月	・飛鳥公園(キトラ古墳周辺地区の追加)約60.7ha都市計画変更
平成15年 3月	・檜隈寺跡史跡指定
平成15年 8月	・特別史跡キトラ古墳仮設保護覆屋竣工
平成16年 9月	・キトラ古墳壁画を全面剥ぎ取ることが方針として決定
平成18年 3月	・国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区基本計画の策定
平成18年 5月	・飛鳥資料館にて「白虎」を特別公開(以降毎年5月に特別公開を実施)
平成18年 8月	・飛鳥公園(キトラ古墳周辺地区の区域変更)約61.4ha都市計画変更の告示
平成18年10月	・都市計画公園飛鳥公園の事業区域(キトラ古墳周辺地区の区域追加)変更の告示
平成20年 3月	・国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区基本設計

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区 体験的歴史学習基本構想検討委員会
スケジュール（案）



なお本委員会のうちキトラ古墳壁画等に関する検討については、古墳壁画保存活用検討会の成果と適宜調整を図るものとする。

参考 国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区 整備スケジュール(案)

エリア		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
全体スケジュール	用地取得											
	基本設計											
	文化財調査											
	実施設計											
	工事											
	開園											
体験的歴史学習に係る検討	体験的歴史学習内容の検討			基本構想	基本計画							
	施設整備				構想に反映		基本設計	実施設計	本体工事	展示工事		
	文化財発掘調査			文化財発掘調査								
各エリアの整備スケジュール	キトラ古墳周辺環境保全エリア			文化財調査		実施設計		工事				
	歴史体験学習エリア			文化財調査		実施設計		工事				
	歴史的風土保全活用エリア			文化財調査		実施設計		工事				
	檜隈寺跡周辺環境保全エリア			文化財調査		実施設計		工事				

平成28年度の開園を目途として作成しています。

(予算額や、関係者との調整の状況に応じて、各区分は前後する可能性があります。)